

館林市第七次行政改革大綱

推進計画一覧及び令和2年度実績

【推進計画一覧】

No.	推進計画	担当課
111	公民連携の推進	企画課
112	公立保育園の認定こども園化及び民営化の推進	こども福祉課
113	公立幼稚園の認定こども園化	学校教育課
114	管路施設の予防保全に向けた包括的民間委託	下水道課
121	公共施設等マネジメントの推進	財政課
122	市有施設におけるエネルギー使用量の削減	地球環境課
123	ごみの減量化	地球環境課
124	公園樹木の再配置・再生計画の検討と実施	緑のまち推進課
125	公園の管理運営計画の見直し	緑のまち推進課
126	市民ニーズに応えるべき施設改修	スポーツ振興課
131	ガバメントクラウドファンディングの実施	企画課
132	ネーミングライツの推進	企画課
133	自動販売機設置による市有財産の有効活用	財政課
134	未活用財産の有効活用	財政課、産業政策課
241	窓口サービスの改善・改革	企画課、関係課
251	効率的かつ機能的な組織・機構づくり	企画課
252	職員提案制度の促進	企画課
253	多様な人材の確保と研修の充実	人事課
254	働き方改革の推進	人事課
261	ICTによる業務の省力化・効率化	企画課
262	ネットワーク更新計画の策定	企画課
263	電子決裁システムの導入	行政課
264	行政手続における押印の見直し	企画課、行政課
265	財務帳票（伝票）の電子データ化	出納室

新規

新規

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ① 公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	公民連携の推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>公民連携の代表的な手法として、指定管理者制度やPFIがあるが、2019年4月1日現在、本市の施設で指定管理者制度が導入されている施設は3施設、PFIについては1施設となっている。</p> <p>職員数が限られた中で多様化・複雑化する市民ニーズに対応するためには、「民間資本・ノウハウを活用し、サービスの向上・効率化を図る」公民連携の推進は必要不可欠なものである。</p>
計画の内容と目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ・公民連携による公共サービスの提供を検討する等、公民連携を広い範囲で捉え、その手法や活用方法について他市の事例や動向を参考にしながら調査研究を行う。 ・調査研究の結果、具体的な活用が可能なものについては、関係課と連携して活用を進める。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
C	<p>国においては、「多様なPPP/PFI手法導入を優先的に検討するための指針」を定め、公共施設等の管理者は、本指針に基づき、それぞれ管理する公共施設等について、優先的検討規程を定め、これに従って優先的検討を行うものとして、人口20万人以上の地方公共団体に対して優先的検討規程の策定を要請し、人口20万人未満の地方公共団体に対しても必要に応じて同様の取組を要請している(令和2年12月28日付内閣府・総務省通知)。</p> <p>本市においても公民連携推進のため、規程策定に向けた検討を進めてきた。</p>
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
<p>国によるPPP/PFI手法活用の推進や本市における同手法による施設整備等の検討が開始されることから、事業化の方針決定後、速やかに事業を実施できるようにPPP/PFI手法導入優先的検討規程の策定に向けて引き続き研究・検討を進める。</p>	

◆ 進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ① 公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
こども福祉課	公立保育園の認定こども園化及び民営化の推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>核家族化の進行や女性の社会進出の増加により、少子化でありながら多種多様な保育の需要は高い水準が続いており、待機児童が発生している。</p> <p>現在、市内には、公立保育園9園、私立保育園5園、私立認定こども園2園、公立幼稚園5園、私立幼稚園1園あるが、公立保育園の待機児童と公立幼稚園の小規模化を解消するためには、適正な規模での教育・保育施設への再編が必要と考える。</p> <p>また、三位一体改革の時より、保育園の運営にかかる経費の一般財源化や施設整備費の削減により市の財政負担は大きく、更に令和元年10月1日より幼児教育保育の無償化がスタートしたことで、より一層の厳しい財政状況になっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>就学前の教育・保育のあり方を検討、方針を策定する。</p> <p>更に、安心安全な子育てができる環境にするため、幼保一体化や民営化を進めていく。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	完了	準備	実施	—

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	<p>こども福祉課及び学校教育課で協議を重ね、「公立幼稚園・保育園就学前の教育・保育のあり方に関する方針」の素案を作成することができた。</p> <p>素案の作成にあたっては、市内公立保育園及び幼稚園に通園する保護者へアンケートを実施したうえで、子ども・子育て会議や教育委員会定例会、私立保育施設関係者に説明するとともに、市議会全員協議会において市議会議員からも意見を伺った。</p>
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
<p>「公立幼稚園・保育園就学前の教育・保育のあり方に関する方針」を決定したうえで、関係機関に報告するとともに、方針に基づいた公立保育園の認定こども園化及び民営化の準備を進める。</p>	

◆ 進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ① 公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
学校教育課	公立幼稚園の認定こども園化

2. 計画の概要

現状と課題
公立幼稚園で利用者数が年々減少し、各園で定員を大きく割る状況となっている。 ・北幼稚園 利用者97名/利用定員180名 53.9% ・南幼稚園 利用者60名/利用定員160名 37.5% ・東幼稚園 利用者23名/利用定員 80名 28.8% ・杉並幼稚園 利用者59名/利用定員160名 36.9% ・西幼稚園 利用者64名/利用定員160名 40.0% ※令和元年11月現在
計画の内容と目指す姿
保育機能を持たせた認定こども園とすることで、待機児童の解消、働く世帯の子育て支援、適切な保育と教育の提供を行い、子育て環境のさらなる充実に資する。 認定こども園のタイプや対象園については、関係する部署と検討を加えていく。 ※令和3年度に「就学前の教育・保育のあり方方針」策定完了

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	完了	準備	実施	—

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	・こども福祉課、学校教育課にて、こども園の形態や移行スケジュール等を盛り込んだ「公立幼稚園・保育園 就学前の教育・保育のあり方に関する方針(案)」の検討・策定を行った。策定に当たっては、幼稚園や保育園、私立の各園からも意見等をいただき、あわせて保護者へのアンケートも実施した。 ・策定された方針(案)については、市長説明や子ども・子育て会議、教育委員会定例会、庁議報告等を経て、令和3年2月26日(金)の全員協議会で中間報告を行った。
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
・より精査を加えた最終的な方針(案)を改めて全員協議会で報告し、スケジュールに則って移行に係る事務を進めていく。 ・こども園化のための施設改修や型の決定、給食の取扱い、定員の設定、職員の待遇等、開園までに必要な事項の検討を、関係各課(幼稚園園長、保育園園長含む)を交えながら進める。 ・他自治体のこども園の視察を行い、移行における諸手続きや移行後の実際の運営状況等を把握する。	

◆ 進捗状況の基準

S	計画を完了・実施(継続実施)した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ① 公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
下水道課	管路施設の予防保全に向けた包括的民間委託

2. 計画の概要

現状と課題
<p>・本市における下水道施設において、老朽化施設の急増による機能への影響とその対策が懸念されている中、下水道管路施設においては、老朽化に起因する道路陥没が発生しており、その対策についても急務となっている。</p> <p>・現在、予防保全型の維持管理を実施するためにストックマネジメント計画を策定しているが、事業を推進するために必要なノウハウのある人員及びこれまで以上に必要となる財源の確保が課題となっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>・これまで個別に委託していた管理業務をまとめて複数年契約により発注し、スケールメリット等によるコスト及び事務量の縮減を図る。</p> <p>・民間の創意工夫及びノウハウを活用し、業務の効率化を図ることで、管理業務にあたっていた人員を固有事務(事業計画策定、接続促進及び料金徴収等)に重点配置する。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	準備	実施	準備	実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	<p>・下水道課内に検討体制を構築し、「事務事業検討会」を月に1回程度開催し、導入検討を開始。</p> <p>・維持管理情報や外部委託状況等の現況把握、対象業務や委託期間等のスキームの検討及び執行体制の検討を実施。</p> <p>・検討の結果、管路施設の維持管理業務だけではなく、改築事業も含めたスキーム案とし、今後の改築計画策定までに期間を要することとなった。</p> <p>・上記検討内容について、国土交通省が募集していた「令和3年度下水道事業のPPP/PFIの案件形成に関する方策検討」へ応募し、モデル都市として選定された。</p>
財政効果額	
令和3年度取組目標	
<p>・国土交通省から派遣されるコンサルタント会社の協力のもと、現状と課題の整理、優先的に導入すべき官民連携手法を検討。</p> <p>・行政と民間の役割分担を明確化した事業の執行体制案及び民間事業者へのアンケート案を作成。</p>	

◆ 進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課	公共施設等マネジメントの推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>現下の厳しい財政状況の中、公共施設等の老朽化対策は大きな課題であり、これからの公共施設等の維持管理は、「新しく造ること」から「賢く使うこと」へ方向を変えていく必要がある。そのため本市では、平成29年2月に「館林市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の整備や維持管理の方向性を定めた。</p> <p>現在、公共施設等マネジメント推進庁内委員会を設立し、より具体的な公共施設の管理方針を定める個別施設計画の策定に着手している。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>館林市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画にもとづき、予防保全による無駄のない施設管理と変化する市民ニーズに応える質の高い行政サービスを提供できる施設運営を推進する。</p> <p>また、立地適正化計画や都市計画マスタープラン等の各種計画と連動した施設の再配置を計画し、コンパクトシティの実現による持続可能なまちづくりを目指す。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
準備	実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	平成29年3月に策定した「館林市公共施設等総合管理計画」に基づき、個別施設ごとの今後の方向性を定めた「館林市公共施設等全体個別施設計画」を令和3年3月に策定。
財政効果額	
/	
令和3年度の取組目標	
令和2年度に策定した「公共施設等全体個別施設計画」を参照し、令和3年度に「公共施設等総合管理計画」の見直しを進める。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
地球環境課	市有施設におけるエネルギー使用量の削減

2. 計画の概要

現状と課題
市有施設におけるエネルギー使用量を削減し、温室効果ガス排出量の削減、及び維持管理経費の削減を図るため、現在館林市環境マネジメントシステムの省エネルギー標準手順書により、組織及び全職員の取り組むべき対策が定められているものの、一層の削減のための更なる取り組みが必要である。
計画の内容と目指す姿
「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」(省エネ法)に定められた、年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減を達成するため、市有施設におけるエネルギー管理標準の作成及び運用改善を推進する。 また、市有施設の設備機器を更新する際に、省エネ・低炭素型機器(LED照明等)の導入を推進する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
S	17の市有施設で更新等工事を行い、省エネ・低炭素型設備機器を導入した。(設計金額300万円以上の工事)
財政効果額	
/	
令和3年度 of 取組目標	
館林市低炭素設備機器等導入指針について、説明会を開催し庁内周知を図る。 老朽化した空調機器や照明設備を更新する際に、順次省エネ・低炭素型設備機器を導入していく。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施(継続実施)した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
地球環境課	ごみの減量化

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市のごみ処理費用は、広域処理施設の建設費を含め、年間約10億円規模で推移してきているが、減量化による処理費用の抑制が必要となっている。</p> <p>また、ごみステーションに排出される家庭ごみは、直接的な費用負担を伴わないため、安易なごみの排出になりやすく、減量化が進みづらい状況にある。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>従前からの3Rの普及啓発や助成事業といった取組に加え、生ごみ減量化として、食品ロス削減の取組のさらなる拡充を図っていく。</p> <p>また、ごみ処理費用の分析・評価を行い、ごみ袋の有料化等の排出量に応じた費用負担の仕組みを導入することで、住民の意識改革を促し、循環型社会の構築及びごみ処理費用の抑制を図る。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	準備	準備	完了	実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ協力店登録制度案を作成した。 ごみ袋の有料化等の審議計画案を作成した。
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ協力店登録制度の運用を開始する。 ごみ袋の有料化等を館林市廃棄物減量等推進審議会に諮問する。 	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
緑のまち推進課	公園樹木の再配置・再生計画の検討と実施

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市の公園は、昭和40年代以降急速に整備されました。当時植栽された樹木が40年以上経過して大きく成長し、巨木化しています。また、公園をとりまく社会状況の変化、市民要望の多様化などから、特に住宅地に設置された身近な公園において様々な問題が発生しております。落下枝や花粉・綿毛・落ち葉の飛散、病害虫・鳥の糞、枝葉の越境や日照障害、根の侵入による施設破損等に対し、近隣住民から苦情や剪定・伐採要望が多く寄せられているところです。そのため、第六次行政改革大綱において、公園樹木等の緑をとりまく現況を調査・把握し、健全な樹木の育成及び緑の質の向上を目的とした計画的・効率的な維持管理の考え方や手法を検討し、公園樹木の取扱い方針を策定しました。今後は方針に基づき、個別の公園の樹木のあるべき姿に向けた具体的な計画の検討と実施が必要となっています。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>公園の緑は都市景観の向上、自然との触れ合いの効果に加え、暑さ対策においても有益であることからある程度は維持、場合によっては向上に努める必要があります。しかしながら、これまでの緑の量＝樹木の量という考えではなく、危険性がある樹木や支障がある樹木については伐採や間伐を行い、緑の量の確保や補う方法として、芝等の地被植物を植栽することも有効と考えます。</p> <p>第六次行政改革大綱において策定いたしました「公園樹木の取扱い方針」に基づき、隣接する住宅等その公園を取り巻く周辺環境や、公園施設に合わせた樹種や配置の見直し、樹高の低減による樹木の再生を検討し、計画的に実施していくことで、「適切な範囲内での緑被率の確保」と、「再配置や再生後の樹木の維持管理コストの縮減」の両立を目指します。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	<p>平成30年度に策定した『公園樹木の取扱い方針』に基づいた樹木の再配置を推進するため、高根2号公園をモデル公園として、再配置方法を検討し、樹木の剪定伐採を行った。外周樹木を伐採、または強剪定により高さを詰めることで、落ち葉の量を削減し、越境枝を解消した。これにより、公園の近隣住民から好評を得た。</p>
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
<p>住宅街の中にある街区公園では、高木が外周に多く配置されていることから慢性的に落ち葉が公園外に飛散し、苦情の原因となっている。そのような公園の中から優先的に実施すべき公園を選定し、伐採や強剪定により樹木の再配置を実施することで、適切な緑被率と維持管理コストの削減を両立した樹木管理を目指す。</p>	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
緑のまち推進課	公園の管理運営計画の見直し

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市の都市公園は昭和40年代以降の区画整理事業等により整備されており、開設から30～40年程経過した公園が多数を占めているため、施設の老朽化による維持管理コストの増加が課題となっている。</p> <p>現在、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を進めているが、膨大な数の公園施設を計画通りに維持、更新していくことは、現在の財政状況を踏まえると非常に困難な状況であるため、計画の見直しが必要となっている。また、過去の公園整備では人口増加の時代に対応するために多くの公園が画一的又は同様の機能を有するものとなっていることから、現在おかれている人口減少、少子高齢化や市民ニーズの多様化・高度化などの社会情勢の変化に対応できておらず、公園に求められる「機能や役割」と公園の「管理運営の実態」との乖離が顕著なものとなっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>老朽化した施設の長寿命化計画を見直すとともに、画一的な公園を多様化する市民ニーズに対応させるために必要な利活用方法の検討や公園機能の再編を進めていくこともあわせて求められている。そのためには、時代の変化や市民にニーズに対応できる将来の公園のあるべき姿を検討した上で計画を見直し、持続可能な公園の維持管理・運営を目指す必要がある。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
準備	検討	実施	完了	—

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	<p>長寿命化計画の更新に向けた予備調査として、橋梁の健全度調査を実施した。内容としては、つつじが岡公園内のコンクリート橋2橋と近藤沼公園内の木橋2橋について、調査を行った。</p> <p>今回の調査では、4橋の内3橋は特に問題ないものの、木橋の内1橋が老朽化が顕著であるとの結果だった。この結果を長寿命化計画更新の際に反映し、対応していく予定である。</p>
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
<p>現在の公園長寿命化計画が令和4年度までの計画になっていることから、その計画更新のために公園施設の基礎調査を実施する。2haを超える公園(つつじが岡公園、多々良沼公園、近藤沼公園)を中心にすべての施設が対象。</p> <p>つつじが岡公園においては、スポーツ振興課、つつじが岡観光課と調整し、社会資本整備交付金事業の対象になり得る施設を抽出し、その施設の調査も実施する。</p>	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
スポーツ振興課	市民ニーズに応えるべき施設改修

2. 計画の概要

現状と課題
市内スポーツ施設の多くは建設から30年以上が経過しており、老朽化の進む各施設においては、多様化する市民ニーズへの対応や競技力向上に繋がる環境整備にいたらないため、市民満足度は厳しい状況となっている。こうした多様化する市民ニーズに応えるためには、各施設を計画的に改修等を進め、利便性向上を図る必要がある。
計画の内容と目指す姿
市民ニーズを踏まえた施設整備を進めることにより、利用者へ多くの利益をもたらすものと考えられる。 このため、利便性向上に繋がる計画的な施設整備改修等を進めるとともに、受益者負担の観点から、利用者への適正な負担として施設使用料の見直しを図る。 設備の改修で施設に付加価値が付き、利便性の向上がなされた場合の料金設定に取り組む。 〔施設使用料の設定が必要となる改修工事〕 ①R3年度：ダノン城沼アリーナ1階4室空調改修工事 ②R5年度：城沼庭球場屋外LED照明改修工事

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール					
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
① 準備		完了	実施	実施	実施
② 準備		準備	準備	完了	実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
C	城沼庭球場の照明は、LED化への工事ができておらず、令和3年度においては予算を活用して電球交換工事を行い、利用者への不便をきたさないように努めた。
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
空調やLED照明の改修工事が実施できるよう、対象となる補助金等を確認しながら準備を進めていく。 また、受益者負担の観点のもと、近隣のスポーツ施設使用料や料金改定の経緯等を調査し、利用者の適正な負担金額について、施設ごとに検討を進めていく。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ③歳入の確保

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ガバメントクラウドファンディングの実施

2. 計画の概要

現状と課題
現在、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディング(以下、GCF)の取組が全国の自治体で行われている。 財源確保が難しい中でGCFは効果的な取組であると思われるが、本市においては行われていない状況である。
計画の内容と目指す姿
GCFの効果を十分に検証したうえで、関係課との協議を進めながら実施を目指す。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
S	新型コロナウイルス感染症の拡大防止及びコロナ禍の影響で閉園となった「つつじが岡公園」の来季開園に向けたつつじの保護育成に取り組むため、令和2年度にGCFを実施した。 【プロジェクト名】新型コロナウイルス対策&つつじ保護育成プロジェクト 【募集期間】令和2年6月10日～9月7日 【目標金額】2,000,000円 【寄付金額】1,170,000円(達成率58.5%)
財政効果額	
1,170,000円	
令和3年度の取組目標	
令和2年度に実施したGCFは、市においてプロジェクトを設定し、募集を行った。本年度以降は、クラウドファンディングを活用した事業者への補助金交付の実施について検討を進めていく。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施(継続実施)した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ③歳入の確保

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ネーミングライツの推進

2. 計画の概要

現状と課題
人口減少や少子高齢化の進行に伴い、市の歳入の増加が見込めない現状となっていることから、自主財源の確保が求められている。そこで、本市では「ネーミングライツ」を2施設(2019年時点)に導入している状況である。
計画の内容と目指す姿
導入施設を増やすとともに、募集方法の工夫やスポンサー企業との協力による新たな地域活性化の在り方の検討など、ネーミングライツがより一層効果的になるような取組みを実施する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
S	令和3年3月31日時点で、2施設にネーミングライツを導入済み。 【施設】館林市文化会館第ホール 【愛称】館林市文化会館カルピス®ホール 【期間】R元.9.1～R6.3.31 【ネーミングライツ料】年額150万円(税抜)
財政効果額	【施設】城沼総合体育館 【愛称】ダノン城沼アリーナ 【期間】R2.1.1～R6.12.31 【ネーミングライツ料】年額150万円(税抜)
3,300,000円	
令和3年度の取組目標	
これまでは導入施設を指定した上で募集を行ってきた。他自治体においてはスポンサー希望者自らが対象施設や愛称、契約金額、契約年数等を提案する「提案型ネーミングライツ」を実施している事例があるが、本市においても導入施設を増やすための検討を行っていく。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施(継続実施)した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ③歳入の確保

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課	自動販売機設置による市有財産の有効活用

2. 計画の概要

現状と課題
行政財産への自動販売機設置については、地方自治法の一部改正によって、貸付範囲が拡大されたことから、積極的に運用を図っている自治体が増えている。本市においても、市有財産のうち庁舎その他の建物及びそれらの敷地の余裕がある部分を貸し付け、自動販売機を設置させるための入札の実施をスタートした。
計画の内容と目指す姿
施設の利用状況等を踏まえながら、自動販売機の設置による市有財産の有効活用を推進し、歳入の確保及び市民サービスの向上を図る。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
C	令和2年度:0か所 【参考】 令和元年度:9か所 ※貸付契約期間は3年間
財政効果額	
1,501,910円	
令和3年度の取組目標	
各課に照会するなど、市有施設の設置可能箇所を探り、新規設置を行う。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ③歳入の確保

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課、産業政策課	未活用財産の有効活用

2. 計画の概要

現状と課題
現下の厳しい財政状況の中、未利用地・低利用地の管理費は確実に削減すべき費用であり、建物の低利用スペースは転用・貸付等により有効に活用し、新たな自主財源を確保しなければならない。
計画の内容と目指す姿
積極的に未利用・低利用財産を選定し、売却、貸付等による活用を推進することで新たな自主財源を確保する。 資産活用に当たっては、PPP/PFI等による公民連携を推進し、また、国・県所有の資産を含めた活用を検討しエリアマネジメントを推進する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
S	<p>【財政課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有地の売払い(東美園町市有地他1件) ・不用道路等の売払い ・庁舎等の使用料 ・その他市有地の貸付 <p>【産業政策課】旧公社保有地である「たてばやし歴史ふれあい道整備事業用地」(館林市台宿町1934-2 他3筆)売払 ※これまでに約2.4haを売却し、約2億3,900万円の収益を確保し減債基金に繰り入れしてきているが、なお約1haの土地が未処分となっている。(0.9haを区画整理課、高齢者支援課及び道路河川課へ所掌替え)</p>
財政効果額	
【産業政策課】 23,745,000円	
令和3年度の取組目標	
<p>【財政課】未利用・低利用財産については、売却、貸付け等による積極的な活用を行うため、処分が見込める土地については、処分方法や条件の検討を進める。また、建物の余裕部分の貸付の可能性について他の自治体の事例等も確認しながら研究を進める。</p> <p>【産業政策課】更なる土地処分に努めたいが、土地の形状が悪く狭小な土地や隣接地権者しか利用できない土地など、売却が困難な土地も多い。処分が見込める土地については一般競争入札や個別交渉による処分を進める。</p>	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施(継続実施)した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ④窓口業務の効率化

241

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課、関係課	窓口サービスの改善・改革

2. 計画の概要

現状と課題
「市民の目線に立った、より便利で使いやすい市役所をつくるため」、「職員数の増加が見込めない中、多様化・複雑化する市民ニーズに適切に対応するため」窓口サービスの改善・改革は必要なものだと考えられる。
計画の内容と目指す姿
窓口の混雑を緩和し、効率的な窓口サービスを提供するため、ワンストップ窓口設置の研究やマイナンバーカード活用によるコンビニエンスストアでの住民票、税証明書発行など、様々な手法を検討し、窓口業務を改善する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	検討	検討	準備	実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
A	令和3年3月15日から、マイナンバーカード(個人番号カード)を利用して、全国のコンビニで住民票の写し等の証明書が取得できるコンビニ交付サービスを開始した。 【発行実績(令和3年3月15日～31日)】 住民票の写し 86件 印鑑登録証明書 50件 所得・課税証明書 12件
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
コンビニ交付について幅広く周知し、利用者の増加を図ることにより、窓口の混雑改善に努める。また、ワンストップ窓口等の効率的なサービスの施策は、機構改革やフロアのスペース等の問題を踏まえながら、引き続き検討していく。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施(継続実施)した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑤人材投資と組織力の向上

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	効率的かつ機能的な組織・機構づくり

2. 計画の概要

現状と課題
社会状況の複雑な変化や、多様化・高度化する市民ニーズを踏まえ、本市が目指すべき将来像を実現していくために、効率的・効果的な組織・機構づくりが求められている。
計画の内容と目指す姿
多様化・高度化する住民ニーズに対応し、総合計画の政策目的の達成及び重要施策の強力な推進を図るために最善の組織をつくる。また、限られた人員や財源のなかで、類似した業務・目的を持つ部署等の整理を進め、効率的かつ機能的な組織づくりを進める。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
S	令和3年度は第6次総合計画の開始年度となることから、早急に対応すべき施策に対応するとともに、組織の効率化を図るため、系の統廃合や新設、配置定員の変更等を行った。
財政効果額	
/	
令和3年度の取組目標	
第6次総合計画の円滑な推進のため、令和4年度に向けた機構改革はこれまで以上に重要なものとなってくる。組織機構検討委員会を設置し、各部の意見集約・情報共有を図りながら、機構改革を実施していく。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑤人材投資と組織力の向上

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	職員提案制度の促進

2. 計画の概要

現状と課題
本市の職員提案制度は昭和52年から始まっているが、近年、提案件数も少なく、提案があったとしてもそれが実施まで至っていない状況である。市民サービスの向上を図っていくためには、職員が創意工夫を行い、前向きに改革改善に取り組んでいくことが重要であると考えられる。
計画の内容と目指す姿
職員提案制度を活性化させることで職員の改善意欲の増進や自己能力の開発及び職員相互の啓発を図ることを目的とする。内容としては、職員提案規程の改正や提案発表の場の規模の拡大などが考えられるが、他市の取組を参考にし、可能な取組から順次実施していく。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
S	これまで本市では「職員提案制度」と「ひとり1改善運動（業務改善）」に取り組んできた。しかし、現状と課題にも記載しているとおり、年々提案件数も少なくなっており、提案があったとしてもそれが実施に至っていない状況であった。このことから、ひとり1改善運動の廃止及び職員提案規程の改正を行い、新たな制度をスタートした。
財政効果額	
/	
令和3年度の取組目標	
新たな制度がスタートして半年ほどが経過した。提案を実現させることが件数の増加等、制度の活性化に繋がると考えられるため、制度を運用しながら審査方法や時期を適宜見直していきたい。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑤人材投資と組織力の向上

253

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
人事課	多様な人材の確保と研修の充実

2. 計画の概要

現状と課題
人口減少に伴う労働力不足により、人材の確保は今後一層厳しくなる中、少数精鋭の組織運営を行っていくために、有能な人材を確保し、継続的、効果的な研修により、職員の資質向上を図る。
計画の内容と目指す姿
新卒採用に加え、経験者採用や新たな人材の発掘方法など、多様な採用制度の導入を検討し、有能な人材を確保する。 階層別研修や専門研修など、研修の機会、内容を充実し、担当業務の修得だけでなく、中長期的な視点を持った人材を育成する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
S	人材確保・組織の活性化を図るため、新卒採用に加え社会人経験者枠での採用を実施した。 職員に求められている意識や能力のレベルアップを図るため、集合研修や派遣研修など各種研修を実施した。
財政効果額	
/	
令和3年度の取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・受験しやすい採用試験を研究。 ・職員の意識改革と能力向上を図るため、効果的な研修を継続実施。 	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑤人材投資と組織力の向上

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
人事課	働き方改革の推進

2. 計画の概要

現状と課題
働き方改革は、ワークライフバランスを実現することにより、職員がその能力を最大限発揮し、生産性の高い行政運営を行うために取り組むべき課題となっている。
計画の内容と目指す姿
職や業務の見直し、効率化によって職場の生産性を高め、長時間労働の是正や年次有給休暇等の取得を促進し、ワークライフバランスを実現する。 ・ワークライフバランスの実現に向けた職員の意識改革 ・「時間外勤務縮減の一層の推進にかかる指針」に基づく具体的な行動の推進 ・男女ともに活躍できる職場環境の整備 管理監督職への女性登用・男性職員の育児休業取得促進 時差出勤や育児休業、介護休暇等、働き方の多様化への対応 有給休暇の取得促進

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
S	コロナ禍における「新しい生活様式」への対応のため、時差出勤やテレワーク等、多様な働き方の推進が緊急で求められることとなった。 時期を定めて実施していた「ゆう活・あさ活」の通年化や、在宅勤務の試行を行い、働き方の多様化に取り組んだ。
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
・「新しい生活様式」に則った働き方の継続的な推進。 ・出退勤管理システム導入に向けた準備を行う。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑥ICT化の推進

261

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課、関係課	ICTによる業務の省力化・効率化

2. 計画の概要

現状と課題
権限委譲や職員数の増加が見込めない中、限られた人数で今まで以上の業務が求められる一方で、働き方改革による長時間労働の是正も課題となっており、さらなる省力化・事務の効率化が必要となっています。
計画の内容と目指す姿
ICTの利用による省力化を実現するため、RPAやAI等の導入による効率化を検討し、関係課と協力の上進めることで効果的な利用を模索し、業務での活用を目指す。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	検討	準備	実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	業者からの情報の収集と、テスト導入への協力依頼を行い、次年度よりテストの実施を予定。
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
	業務へのテスト導入を行い、導入(対応)業務・費用対効果・導入の可否を検討する。

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ネットワーク更新計画の策定

2. 計画の概要

現状と課題
ICTが必要不可欠となり、庁内外との連携も重要度も増す中、市内に敷設してきた光ケーブルが15年以上経過し老朽化してきているため、今後通信に不具合が出ることによる自治体運営への重大な影響が懸念される。
計画の内容と目指す姿
現在自庁で保有している光ケーブルのあり方を見直し、新たにネットワーク更新方法を検討し、コストとメンテナンスにかけている手間を削減できる、安定したネットワーク構築手段の計画を策定する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	検討	検討	準備	準備

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	現在使用しているネットワークに係る費用の算出と、利用できるネットワークの選出や検討を進めている。
財政効果額	
令和3年度を取組目標	
	保有する設備の取り扱いについて、切り替え時の処理対応を検討する。

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目 ⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
行政課	電子決裁システムの導入

2. 計画の概要

現状と課題
<p>○多様化する行政サービスのニーズによる様々な新規事業の立上げ等に伴う事務量の増加 →多様化、複雑化する事務を効率的に処理していかなければならない。</p> <p>○行政が保有する公文書に対する適正管理が求められている。 →情報公開制度の適切な運用及び更なる充実を図る。</p> <p>○結果(処分)に対する説明責任及び組織の意思決定のスピードが求められている。 →合議、決裁事務の迅速化及び効率化を図る。</p> <p>○増え続ける永年保存文書等を適切に管理、保管しなければならない。 →電子データの活用及びペーパーレス化を図る。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>事務処理の効率化、保有する行政文書の適正管理、組織としての意思決定の迅速化及び紙の節減等ペーパーレス化を図るため、電子決裁の導入を図る。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検討	準備	実施	継続実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	<p>○電子決裁システムを導入している近隣自治体への聴取り及びシステムの視察を行ったほか、各システムベンダーによるデモンストレーションを受けた。</p> <p>○電子決裁システムの構築・導入に向けて、文書管理の基本的方針を確認した。</p>
財政効果額	
/	
令和3年度 of 取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子決裁システムの導入に向けた文書管理状況調査等の実施 ○ 電子決裁システム導入自治体の視察 ○ プロジェクトチームの結成 ○ システム仕様の検討 	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

重点項目 ⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課、行政課	行政手続における押印の見直し

2. 計画の概要

現状と課題
デジタル時代を見据えたデジタルガバメント実現のためには、押印原則、書面主義、対面主義からの決別が喫緊の課題となっている。 国においては、令和2年12月時点で民間から行政への手続の99.4%が押印廃止又は廃止の方向となり、各地方公共団体に見直しのマニュアルが送付されるなど、積極的な取組が行われている。
計画の内容と目指す姿
行政手続のオンライン化を見据え、市民から提出される申請書等において、原則として押印の義務づけを廃止する。

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
準備	実施	準備	実施	継続実施

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
B	国のマニュアルを参考に、庁内における押印見直しの方針策定。廃止可能な手続の洗い出しを行った。 【見直し方針】 行政手続(市民から提出される申請等)において、原則として押印の義務づけを廃止する。 ただし、申請等に押印を求める合理性等が認められるものについては、押印を存続するものとする。
財政効果額	
令和3年度の取組目標	
廃止可能な手続の最終確認を行い、行政手続における義務づけ廃止を完了する。 また、次年度以降に向け、法人対象・内部手続といった今回の見直し対象外とした手続の押印義務づけ廃止に向けた準備を進めていきたい。	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

重点項目 ⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
出納室	財務帳票（伝票）の電子データ化

2. 計画の概要

現状と課題
<p>○現在、財務会計システムでは会計事務の全てを紙で行っているため、担当課で起票した伝票を出納室まで持参する必要があり、事務処理が非効率的である。</p> <p>○担当課から出納室に提出される伝票は年間約15万件であり、その膨大な数のコピー用紙が使用されている。また、伝票は10年保管のため、保管用ファイル購入経費、入替作業やその保管場所の問題もある。</p> <p>○担当課から出納室に伝票が提出されているかの問合せの際の探す手間や伝票紛失などの問題がある。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>内容：複数の審査担当者がチェックできる機能や審査伝票と請求書等を並べて表示できる機能を作成し、紙伝票と同様の審査事務が可能となるようにする。</p> <p>目指す姿：ペーパーレスにより、コピー用紙やファイリング等消耗品の経費削減やプリントして出納室に持参不用になるため、事務の効率化による人件費の削減及び伝票紛失や情報漏洩の恐れがなくなるためデータ化を図る。</p>

3. 計画のスケジュール

実施スケジュール				
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
—	検討	検討	準備	準備

4. 令和2年度の進捗状況

進捗状況	取組実績
<p>財政効果額</p>	
来年度の取組目標	

◆進捗状況の基準

S	計画を完了・実施（継続実施）した。
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。